

2018年3月30日

各位

会社名 マックスバリュ東北株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐々木智佳子
(コード番号 2655 東証第2部)
問合せ先 常務取締役 管理本部長
古谷憲介
(電話 018-847-2792)
当社の親会社 イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長 岡田元也
(コード番号 8267 東証第1部)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2018年2月期第4四半期において、固定資産の減損処理等により下記のとおり特別損失を計上するとともに、2017年4月12日に公表しました通期の業績予想を下記の通り修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、当社が保有する店舗等の一部の固定資産について、収益性の低下等による減損の兆候が認められたため、その認識・測定を行った結果、2018年2月期第4四半期において、固定資産の減損損失5億31百万円を特別損失として計上することといたしました。

2. 業績予想数値の修正

2018年2月期通期個別業績予想数値の修正(2017年3月1日～2018年2月28日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 109,000	百万円 1,400	百万円 1,400	百万円 455	円 銭 24 99
今回発表予想 (B)	105,300	1,210	1,240	300	16 47
増減額 (B-A)	△3,700	△190	△160	△155	
増減率 (%)	△3.4	△13.6	△11.4	△34.0	
(ご参考)前期実績 (2017年2月期)	106,395	1,372	1,396	516	28 39

3. 修正の理由

2018年2月期の業績については、競合各社との価格競争や業種・業態を超えた競争が激化するなど厳しい状況の中、営業収益は1,053億円となる見込みです。売上総利益率は前年同期より改善する見込みではありますが、経費面においてはコスト構造改革を継続して進めて参りましたが、WAONカード販促等の経費が前年を上回った結果、営業利益及び経常利益はそれぞれ当初予想を下回り12億10百万円、12億40百万円となる見込みです。

また、当期純利益は今回特別損失を計上することにより、当初業績予想を下回り3億円の当期純利益になる見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の実績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上